

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時 平成25年7月 2 日(火) 5・6校時
 場 所 安来市立能義小学校
 対 象 6年生児童 16名
 指導者 学級担任
 安来市教育委員会職員
 埋蔵文化財調査センター職員

1. 主 題 弥生～古墳時代の安来地方の様子

2. ねらい

- 安来市内の弥生時代から古墳時代の遺跡を知ったり、実際に出土した遺物を見たりすることで、歴史学習への興味や関心を高めるとともに、ふるさとに対する愛着の気持ちを育てる。
- 出土した鏡や復元品を見たり、金属鏡を作ったりして、製作技術の高さや古代人にとっての鏡の意味などについて学ぶ。

3. 展 開

時間	学習活動	指導者の支援・配慮事項	分担
5分	今日の学習の流れを確認しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・講師及び埋蔵文化財の仕事の紹介をする。 ・学習の内容やねらいを説明する。 	小銀
30分	弥生時代～古墳時代の安来を知ろう <ul style="list-style-type: none"> ・弥生時代の安来の様子 ・弥生時代から古墳時代への移り変わり(四隅突出型墳丘墓から古墳へ) ・安来市内の古墳について知る。 ・安来の地域的特質を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遺跡からの出土した遺物を提示し、安来市内の弥生時代～古墳時代の様子や地域的な特色について理解させる。 	舟木
10分	古墳時代の鏡について知ろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・当時の鏡の役割について知る。 ・古代の鏡の作り方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の鏡と古代の鏡の復元品を比較し、古代人にとっての鏡の意味を理解させる。 	山根
10分	休憩	<ul style="list-style-type: none"> ・出土品を間近で観察する機会を設ける。 	
60分 (10分)	金属鏡を作ろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・鋳型に金属を流し込む実演を見る ・作り方の説明を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に配慮する。 	山根
(50分)	<ul style="list-style-type: none"> ・金属鏡を作る。 (①耐水ペーパーで磨く) (②液体研磨剤で磨く) 	<ul style="list-style-type: none"> ・磨くポイントを指示する。 表面の凸凹がなくなるまで磨く。 表面の傷がなくなるまで磨く。 	
10分	学習のまとめをしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・感想発表をする。(時間があれば) ・アンケートに答える。 	小銀

※準備する物

- (学校・児童) 筆記用具・プロジェクターなど
- (安来市教委) 学習資料・遺物
- (埋文センター) 学習の資料 金属鏡復元品 金属鏡作りセット デジカメ(記録用)